

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■ 今日は、収穫感謝主日として礼拝をおささげします。
また、礼拝の中で聖餐式と七五三のお祝いと祝福
の祈りも行います。

■ 11月20日～23日 キムチバザー&コンサート準備・当日スケジュール

11月20日(木) 準備(白菜洗いと塩漬けなど)

11月21日(金) 準備(白菜洗いと野菜カットなど)

11月22日(土) 最終準備(キムチつくりなど)

11月23日(日) 主日礼拝後

14:00 バザー&コンサート開始

良い天気と主の恵みを祈りつつ地域へ福音の種まきの
時となるよう願います。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の
皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々
木こずえ執事の家庭など)



聖餐式

賛美 讃美歌 205

招きの言葉

愛する聖徒の皆さん、救い主イエスキリストを信じ、洗
礼を受け、キリストのものとしてふさわしく生きることを
願っている者は、全てのこの聖餐に招かれています。い
ずれの教会員であっても同じ信仰を告白している方は、
共に陪餐されますように。まだ、信仰を告白しない、洗礼
を受けていない方は、聖餐を受けることは控えるべきで
あります。救い主イエスキリストを信じて、信仰告白し、
洗礼を受け、聖餐に預かる日が一日も早く来るように祈
ります。

祈 祷 (悔い改めの祈り)

分 餐

パンの分餐

ぶどう酒の分餐

祈 祷

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 北原明子(祈禱)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 平澤寿子(祈禱)

水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 松島浩一(祈禱)

週報 2025-46 号

2025.11.16

収穫感謝主日礼拝

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード

韓芽唯

信仰告白 (使徒信条)

代表祈禱 鈴木真由美

特別賛美 インマヌエル聖歌隊

(七五三の祝福の祈り) 教会学校

聖書箇所 ヨハネの福音書 6:53-58

(主の肉を食べ、主の血を飲む者は命を得る)

メッセージ 柳承吉牧師

聖餐式 讚美歌 205

賛美 神の家族

祝 禱 柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード

韓芽唯

代表祈禱 北原孝子

聖書箇所 テサロニケ第二 1:1-4

(伝道者の感謝と誇り 2)

メッセージ 柳 承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会 韓芽唯

代表祈禱 鈴木真由美

聖書箇所 ローマ書 8:5-14

メッセージ ローマ書 8 章の概略(3) 柳承吉牧師

主の祈り

今週の御言葉

「主の肉を食べ、主の血を飲む者は命を得る」

ヨハネ 6:53-58

今日は 収穫感謝主日礼拝です。収穫を感謝すると同時に、救いの源であるキリストの体と血を味わい、主が備えてくださった“永遠の収穫”を感謝する日です。ここから、聖餐の中心にある新しい契約の意味に入っていきます。聖餐はただの儀式でも記念食でもありません。主イエス・キリストが「新しい契約」をご自身の血によって確立された出来事の現実を、目に見える形で私たちに確証する神の恵みの手段です。イエスが語られた「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲まなければ、あなたがたのうちに命はありません」(53)この御言葉の深い意味を、聖餐を通して今日あらためて受け取りたいと思います。

1. 聖餐は「新しい契約」の確立である

イエスは十字架の前夜、弟子たちと食卓につき、聖餐を制定されました。その聖餐はただの食事ではなく、「契約の再締結」でした。最初のアダムに対して神は契約を結びました。被造物が神を礼拝し、神に従い、神と共に生きるようにと。しかしアダムは創造主を拒み、反逆し、結果として罪と死が人類に入りました。それでも神は、反逆した人間を見捨てず、再びご自分の民として回復することを望まれました。しかし、契約を破ったのは人間でしたから、契約の回復には「人間」が完全に従順を果たさねばなりません。そこで神は、神ご自身が人となられ、私たちの代わりに契約を守る道を選ばれました。それが主イエス・キリストです。イエスは人となり、律法とすべての神の御心に完全に従われました。罪の結果は死であり、律法

は「罪を犯す者は必ず死ぬ」と宣言しています。主はその律法の要求どおりに死なれ、ご自身の血によって新しい契約を確立されました。イエスの死は、「人類を神の民として回復する」という神の永遠のご計画の成就であり、新しい契約の確立そのものでした。

2. なぜ「血」による契約が必要であったのか

血こそが救いの保証となるから。

神は、私たちが自分の救いを確信できるように、「血による契約」を与えられました。救いは、ただの宣言ではなく、神の御子が実際に血を流された「歴史的事実」によって保証されています。

聖餐で血を見ると、救いが「五感」で確証される。

私たちは弱いゆえに、時に救いを疑い、不安になります。そこで主は、見る・触れる・味わう・嗅ぐという「体のすべての感覚」を用いて救いを確証させるために、聖餐を与えてくださいました。

3. 聖餐は「主のために生きる人生」へと導く

主は私たちのために肉を裂き、血を流されました。この現実が心に迫るとき、主のために生きずにはいられません。「主を私のすべてとして生きる」これがクリスチャンの本来の姿です。聖餐は、救いの確実さを確認し、主の血によって結ばれた新しい契約を思い起こし、主のために生きる決断を新たにする、神の恵みの食卓です。今日、私たちが主の体と血にあずかるとき、次の三つを心に留めましょう。私の救いは確実である、主の血によって。私は神の子とされた、主の死によって。私は主のために生きる、主の愛に応えるために。主が流された血を記念し、その愛と恵みに押し出され、主のために生きる歩みを新しく始めましょう。